

豊中市スポーツ推進計画 公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団実施事業一覧

対象事業：全事業（152）中 20事業のうち、再掲（4事業）を除く16事業

公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団が令和3年3月31日付で解散することに伴い、これまで同財団が担っていた事業を他の実施主体に継承できるか検討しました。出資法人は屋内体育施設の指定管理者でもあったことから、次期屋内体育施設指定管理者へ当該事業の継続の打診をしたところ、16事業中、15事業について引き続き実施していただけることになりました。残り1事業についても、事業を廃止にはせず、他の実施主体への継承について検討していきます。

No. (再掲)	事業名	具体的内容	再掲No.	指標	R3年度目標値	R元年度実績	R元年度達成度	令和3年度事業実施	令和3年度事業主体(所管)	備考
1 (61)	ライフステージに応じたプログラムの開発と普及	スポーツを実施する機会が少ない人や子育て世代が気軽に参加できる、健康プログラムの開発を検討します。 具体的には、本市の各トレーニング室において、体力診断システムを有効活用し、結果に応じた個々のプログラムを作成し、自らの健康状態を把握し、プログラムを実施した結果を体感していただく事業に取り組みます。 また、健康づくりや体力づくり等、運動する目的が明確な人びとに向けては、カルテを作成し、進捗状況を確認しながら、目的・目標に応じた運動指導を行います。	1 61	参加者数	400	837	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
30	子どもスポーツ教室（幼児）の開催	3歳以下の子どもには、運動の基本動作を遊びの中で楽しみながら習得していくため、保護者とともに運動を行っています。 4・5・6歳児は、成長の著しいこの時期に走る、投げる、転がる等の動作を通じて楽しみながら、スポーツの基本動作の習慣を行っています。 今後は、身体を動かすことの楽しみを知った子どもが継続的に参加できる教室が少ないため、その対応策を検討します。		実施回数	100	118	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
43	子どもスポーツ教室の開催	小学校低学年には、簡単なルールに沿ってゲームを楽しめる種目を取り入れた教室を実施し、楽しさ・達成感を味わうことで、授業で実施されている種目に対しての苦手意識を持たないことをめざします。また、競技種目の教室では、体育連盟から推薦を受けた指導者により、基本からそれぞれの技術に応じた指導を行っています。 今後は、身体を動かすことの楽しさを知った子どもが継続的に参加できる教室の増枠を検討し、運動の得意・苦手な子どもが両極端の傾向があることから、両者の間を埋めることや両者を伸ばす取り組みを検討します。また、広報の強化とあわせ、通年の開催を視野に入れ、スポーツに興味をもってもらい、子どもが生涯続けられるスポーツに出会う場としての教室となるよう取り組んでいき、将来アスリートをめざす青少年のために、選手コースも開催します。		実施回数	10	19	A	継続 (ただし、選手コースは実施しない)	屋内体育施設指定管理者	
60	外国人向けのスポーツ教室の開催	現在実施している外国人向け水泳指導に加え、武道等多種類の教室を開催します。また、案内等の多言語化表示に努めていきます。		実施回数	10	2	D	継続	屋内体育施設指定管理者	
62	地域団体への着衣泳講習や普通救命講習等の実施	水難事故発生時の身のこなしを習得することを目的とした着衣泳の講習会を実施します。今後は、周知活動に力を入れ、講師等の人材確保に努めます。またスポーツ現場における怪我や病気にに対する応急処置の方法をはじめ、AEDの活用方法等の普及を行います。		着衣泳・普通救命講習実施回数合計	4	2	C	継続	屋内体育施設指定管理者	
75 (113)	ウォーキング講座	高齢者が集まりやすい場所で、簡単な体操プログラムや、ウォーキング講座を実施し、身近で運動ができる機会の増加を図ります。	75 113	実施回数	3	3	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
80	障害児向けの各種スポーツ教室の開催	福祉・スポーツそれぞれの専門家が障害児を対象に水泳教室、体操教室を実施します。今後は、障害児にとって一番運動しやすい時間や場所の確保と通年開催に向けて取り組んでいきます。		指標なし	—	—	F	継続	屋内体育施設指定管理者	
83 (143)	障害者スポーツ体験会	障害者スポーツの体験会を実施し、障害者への理解を深め、障害者スポーツの魅力を広く啓発するとともに、障害者と健常者の交流を図ります。	83 143	実施回数	1	2	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
87 (130)	ボランティア組織の活用	本市のスポーツイベントや様々な関連する事業を支えていただくボランティア組織を構築し、積極的に活用します。また、サポートが必要な人のスポーツ教室参加があった場合、ボランティア組織の登録者にサポートを依頼します。	87 130	協力者数	20	22	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
89	トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施	トップアスリートやプロチーム等を招き、講演会やスポーツ教室、地元チームとの交流ゲーム等を企画し、多くの市民と競技者がふれあい、夢や希望を与える機会を創出します。		実施回数	1	3	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
100	新たな情報提供の充実	ホームページ等を活用し、情報の受発信機能を構築します。また、IT関連での情報を受け取れない人向けに、情報誌（紙媒体）を発行します。		指標なし	—	—	F	継続	屋内体育施設指定管理者	
102	スポ振通信での情報提供	スポーツの情報発信だけでなく、健康に関する内容の特集記事等も掲載します。		発行回数	12	12	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
121	総合型地域スポーツクラブへの支援	生涯を通じてスポーツに親しめる環境を身近な地域に整える総合型地域スポーツクラブについて、「住民主体」によって地域スポーツの推進を図るため、自立に向けた支援をします。		連携事業の実施回数	5	22	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
131	指導員バンク制度の構築	各種教室の安定的な実施、内容充実のために指導員育成をし、財団独自のバンク制度の構築を進めます。幅広い人材のバンク登録により、市民ニーズに合わせた事業の拡充を図ります。		バンク登録者数	80	122	A	継続	未定	事業継続は必要であるが、実施主体が決定しないため、引き続き検討する。
136	スポーツまちづくりイベントの実施	地域や周辺施設、企業、ネーミングライツパートナー等と連携したスポーツイベントを開催します。		イベント実施回数	2	2	A	継続	屋内体育施設指定管理者	
150	大学との連携	大学と連携し、協働でスポーツ活動を実施する等、交流を充実させ、今後は大学の知見を活かした、運動プログラムの開発等について検討します。		指標なし	—	—	F	継続	屋内体育施設指定管理者	